

# 安全安心モビリティ研究所



所長 菊池 輝 (工学部 都市マネジメント学科 教授)

一般に交通はそれ自体に意味を持つ行動ではなく、本源的需要を達成するための手段、いわゆる派生的需要です。この意味で交通は、活力ある生活舞台としての都市や地域を下支えする役割を持ちます。本研究所では、「平時の交通安全」「非常時の避難行動支援」「日常の地域交通」に関し分野横断型の実践的研究を進め、私たちの移動(モビリティ)を安全かつ安心・快適なものとして機能させ、ひいては持続可能な交通社会の構築を目指します。

## 研究キーワード

- 交通行動分析 ● 交通心理学 ● 交通安全 ● 安全教育 ● 避難行動 ● 地域防災 ● 防災教育
- 水災害(洪水・津波) ● 運輸政策、地域交通 ● モビリティ・マネジメント ● 視線分析 ● 視覚的注意
- 近赤外線分光法(NIRS) ● バーチャルリアリティ(VR) ● 点群データ ● 慣性センサ ● ミラーリング法
- ドライビングシミュレータ ● マインクラフト

## 研究内容

- ドライバーや歩行者等の危険認知に関する研究
- 児童・生徒を対象とした交通安全教育の実践研究
- 防災意識と避難行動特性の関係に関する研究
- 児童を対象とした防災教育教材の開発研究
- 防災教育プログラムの実践研究
- 加齢と意思決定の関係に関する研究
- 公共交通利用促進プログラムの実践研究



ドライビングシミュレータを用いた交通安全実験研究



モビリティ・マネジメントの取り組み

安全・安心・快適な交通社会の実現を与える

